

# 議会だより

みなみふらの



幾寅保育所お遊戯会（10月22日）

**第3回定例会概要**  
**一般質問**  
**第4回臨時会概要**  
**議員研修会報告**  
**議会の動き**

**2～3 P**

**3～5 P**

**5 P**

**6 P**

**6 P**

# 令和4年第3回定例会

令和4年9月20日～22日

令和4年第3回定例会は9月20日に招集され、会期を9月20日から22日までの3日間と決めた後、教育行政評価報告、町長の行政報告13件と教育長の教育行政報告7件、議会運営委員会報告、総務常任委員会報告、議員派遣報告があり、1議員による一般質問が行われました。その後、報告案件として令和3年度南富良野町健全化判断比率及び資金不足比率の報告を受けました。引き続き、一般会計及び4特別会計補正予算を審議の結果、原案のとおり可決し、1日目を終了しました。

令和4年第3回定例会は、総務常任委員会に付託し、閉会中の継続調査とすることに決定しました。その後、議員提出による意見書案1件についても審議の結果、原案のとおり可決し、全ての日程を終え、定例会を終了しました。

## 条例の制定

○南富良野町長の給与の特例に関する条例

町長の給与月額（令和4年10月分）の1000分の20を減額する条例です。

## 条例の一部改正

○職員の育児休業等に関する条例

法律の一部改正に伴い、非常勤職員の育児休業等の取得要件の緩和と、新たに育児休業を取得しやすい勤務環境の整備に関する措置の規定を設けるものです。

## 人事案件

○教育委員会委員の任命

令和4年9月30日をもって任期満了となる河野高好氏の後任として、辰見裕之

氏（金山）を任命したいとして同意を求める議案が町長から提出され、無記名投票による採決の結果、賛成多数で任命に同意しました。（賛成6・反対0）

## 一般会計補正予算の主なもの

・ 太平橋架替工事に伴う支障光通信ケーブル移転工事 489万円

・ 南富良野町長選挙執行経費 △468万円

・ 後期高齢者医療給付費負担金 △356万円

・ 新型コロナウイルスワクチン接種事業費 453万円

・ 空知川幾寅右岸築堤外工事に伴う鹿柵移転工事 1267万円

・ 下金山地区水田畦畔改修工事 441万円

・ 令和3年度農地耕作条件改善工事負担軽減助成金 616万円

## その他

○富良野地区介護認定審査会規約の変更

審査会の執務場所を富良野市保健センター内から富良野市役所内に変更するものです。

令和4年度各会計補正予算	補正額	補正後
一般会計	2661万円	44億1560万円
国民健康保険事業特別会計	264万円	2億8341万円
後期高齢者医療事業特別会計	△24万円	3861万円
介護保険特別会計	180万円	3億1376万円
町立診療所事業特別会計	271万円	9204万円
簡易水道事業特別会計	-	1億9831万円
公共下水道事業特別会計	-	1億3764万円
合計	3400万円	54億7937万円

決算の認定

令和3年度各会計歳入歳出決算の認定については、町長からの提案説明に引き続き、森代表監査委員から各会計の決算の監査意見が述べられ、総務常任委員会（議員選出監査委員を除く）に付託され、閉会中の継続調査とすることとしました。

閉会中の継続調査

総務常任委員会では令和4年第2回定例会以降、次の4件について閉会中の継続調査を行いました。

～議決された意見書～

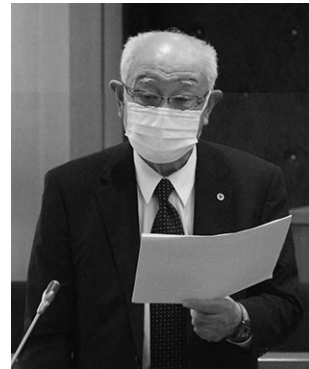
◆国土強靱化に資する社会資本整備等に関する意見書

※議決された意見書は、議長名でそれぞれの関係機関に提出しています。

- ・新たな公共交通体系の在り方について
- ・道の駅再編整備について
- ・かなやま湖森林公園内における民間事業者の活用について
- ・河川防災ステーションについて
- また、次の4点について第4回定例会までの間、閉会中の継続調査をすることとしました。
  - ・道の駅再編整備について
  - ・国設南ふらのスキー場の管理運営について
  - ・町発注の工事進捗状況について
  - ・議員報酬の在り方について

問 感謝祭の主催は、またその開催経費は

答 振興公社と観光協会の共催、開催経費は27万円を予算



一般質問（要旨）  
酒井 年夫 議員

1 「道の駅南ふらの」感謝祭の開催について

酒井 道の駅南ふらの感謝祭が10月に開催予定と聞かされるが、次の2点について伺う。

①この感謝祭の主催はどのようなのか。

②開催経費、その経費の内訳は。

町長 ①令和元年まで12回実施してきた感謝祭は、株式会社南富良野町振興公社が主催であったが、今年も株式会社南富良野町振興公社と、まちづくり観光協会との共催で、それに併せて例年からの農協が道の駅で行っていた収穫祭も一緒に開催すると承知をしている。

②経費の内容としては、抽選会の景品代、宣伝広告費、アルコール消毒などの蔓延防止に関する費用として27万円程度の経費がかかると思われる。感謝祭は、町民の皆様や利用者への感謝の意を示しながら、販売促進というところが目的であり、大きな販売促進費に見合っ

た経費のかけ方ということでの27万円と聞いている。

酒井 私は、行政からやりたいから力を貸せということでの話があったようだと聞かされているが、従事する皆さん方の昼食代などはどうなっているのか。販売促進というのが振興公社の製品と農産物であれば、これに町も絡んで感謝祭を盛り上げて、より多くの人に集まってもらい、そして販売促進という形に結び付けていくことで十分なPRにもなると思うが、そういう考え方には立っていないのか。今年だけ振興公社と観光協会の共催で、来年以降はこれから検討するということなのか、行政の基本的な考え方を伺う。

町長 そもそもこれ自体は私が振興公社の職員に対して感謝祭を今年はやれないのかと話したところから始まった話だと思っており、農協さんも一緒にどうかと声をかけて開催になったというところで、今回はリセットされた形でスタートの第

1回となっている。まだコロナ禍でしつかり計画を持ってやるところまではいつていないと私も感じているが、もう少し本腰を入れて町も絡んでやってはどうなのかというご意見は、しつかり受け止め、これから内部協議をしていきたい。

**企画課長** 経費の内訳については、抽選会の景品代としてポテトチップス、くまさ茶、ラーチの宿泊券、食事券などに21万7千円、宣伝広告費として新聞折り込みやチラシを作る用紙代に9千円、その他消耗品、アルコール消毒液、飛沫防止用のビニールシート、それとスタッフ用の昼食に4万4千円、合計で27万円となっている。

開催内容については、道の駅全体エリアにおいて、本町の収穫、味覚、スポーツをテーマに、ふらの農協と大乗会、各飲食店舗の協力をいただき開催することになっている。公社についてはバタジャが、くまさ茶などの自社製品の特価で

の販売、ふらの農協においてはタマネギ、馬鈴薯、ニンジン、カボチャなどの販売、それと野菜の袋詰め放題など、数量限定により実施していただく。観光協会では電動アシスト付きクロスバイクのレンタルを感謝価格で貸し出しを行い、複合商業施設の各飲食店においても、数量限定による新しいメニューの販売や、感謝価格での提供を予定している。

**酒井** 今年は開催まで日数もなく、どうしようもないだろうが、来年度以降も行うのであれば、もう少し実体制制、中身の充実につい



道の駅感謝祭の様子

て十分論じ合い、より賑わい、活性化を見せるような事業にするための体制をとることが必要だと思っし、そういう体制を作るためには、やはり行政も絡むべきだろうと、私なりに判断する。今後の取組について、そういう覚悟もぜひ持っていただきたい。

## ②道の駅周辺整備について

**酒井** 次の3点について伺う。

- ①その2工事の内容、整備計画の最終案はどうなっているのか。
- ②モンベル・レストラン・フードコートの所在を示すPR看板等には必要ではないか。
- ③複合商業施設側にも身障者専用の駐車スペースの設置が必要と思うが、どのように考えているのか。

**町長** ①その2工事の主な内容は、公園利用者と出店事業者、フードコートの利用者の利便性を向上するためにフードコートの東側に

屋外水洗トイレを設置すること、複合施設で使用する備品等を保管する管理倉庫を整備するものである。

24時間トイレは、物産センターが「重点道の駅」に指定されたことにより、その駐車場が今度、国の管轄する駐車場になり、そこに面した所であればいけないので、今の位置から他にずらすことは難しいということになったようである。

②PR看板については当初からない状況だったが、9月末までに正面階段付近に看板を設置することで、今、発注をしている。

③身障者用の駐車スペースが複合商業施設側にはなかったが、7区画を複合施設の前に整備することになっている。

**酒井** 緑地公園にトイレを造るとなると、あそこ一帯でトイレが3つになる。最終的に緑地公園にトイレが本当に必要になるのか。倉庫にしても、地元の建設業者の知恵を借りる必要があったのではないかと。今の計画しか方法がない

のか、具体的な設計をする前に、もう一度聞かせていただき、議論をさせていきたい。



整備が進む公園

## ③農地耕作条件改善事業について

**酒井** 次の2点について、具体的な立案等を確認して伺う。

- ①暗渠排水、客土、徐礫、堆肥投入の受益者負担の在り方はどのように配慮されたか。
- ②工種ごとの施工希望農家の令和4年度の施工状況、希望者はどのようになったのか。

**町長** ①農地耕作条件改善

事業の受益者負担については、他の事業との均衡あるいは道営事業の受益者負担割合、これを基に決定している。暗渠排水・客土・徐礫

については、受益者負担率を当初20%で考えていたが、これを10%に、堆肥投入については、当初50%だったものを25%に負担軽減をさせていた。これを4年度、5年度も適用し、令和3年度分については、この見直した負担率により再算定して、過納入となる額を助成金として交付するよう、この定例会に補正予算案として提案させていただいている。

②工種ごとの令和4年度の施工状況については、暗渠排水は3件で1・58ヘクタール、客土は1件で1・3ヘクタール、徐礫は3件で3・3ヘクタール、堆肥投入は4件で478トンの希望があり、実施の予定である。当初要望から客土1件、堆肥投入1件については追加でやりたいという申し出があり、当初予算の中で吸収できることから実施していく。

#### ④南富良野高等学校 カヌー部について

**酒井** 本町高等学校カヌー部はインターハイ、国体等に道代表として選手を派遣しているが、全国に通用する環境整備・指導体制の在り方等、現況はどのようなになっているのか伺う。

**教育長** 今年度、カヌー部には、3年生1名、2年生3名、1年生10名、計14名が在籍している。指導体制については、現在3名(うち実技指導者は1名の教員により複数指導体制をとっているが、道内の高等学校でカヌー部があるのは本町の高校のみであり、競技人口も少なく、カヌーの指導が出来る教員についても、現在道内ではわずかな状況である。練習環境については、

かなやま湖での練習と、水上での練習ができない冬期間については、主にトレーニング機器を用いた屋内での体力強化等を行っている状況である。また、カヌー艇等については、規格の変更に伴い更新、整備をさ

せていただいている。現在、高等学校存続に向けて生徒募集を強化している最中だが、入学しても指導教員が不在となれば、今後の生徒募集に及ぼす影響は大きいと考えており、選手を育成していくためにも異動に左右されない指導体制を構築していく必要があると考えており、町職員として指導者を採用することも考えている。

同じ環境を与え、同じ投資をしても、指導者によって大きく成果の違いが出てくる。カーリング等をメインにしながら生徒募集に全道の中学校へ校長、事務長がPRに行っていると聞いているが、そこにも大きな影響を及ぼすであろう指導者についても誰でもいいという形になるのか、きちんと適性を見極める必要があるのではないか。考え方をもう一歩先に進めて新たな指導者を求め、場合によっては町職員として採用してでもカヌーをしっかりと全国に通用する選手育成をやるというような決意が

あるのか伺う。

**教育長** 中学校の訪問には、数校だが私も札幌のほうに行かせていただいたが、やはりこの募集活動は引き続き行っていく必要があるだろうと考えている。そして、その大きな魅力となるカヌー部でありカーリング部であろうと思う。そういう中では、しっかりとした部活体制を整えることが必要であり、指導者もしっかり確保できるように探す方法も模索していきたい。

あるのか伺う。

あるのか伺う。



高校総体(香川県)に北海道代表で出場

**令和4年第4回  
臨時会  
9月1日**

令和4年第4回臨時会は9月1日に招集され、提案された議案を原案のとおり可決し閉会しました。

**■工事請負契約**

- ・ 契約の目的  
道の駅再編整備に伴う公園整備工事(その1)
- ・ 契約の方法  
単体型一般競争入札による契約
- ・ 契約金額  
6501万円
- ・ 契約の相手方  
株式会社吉岡建設

**■財産の取得**

- ・ 取得しようとする動産  
水道料金システム1式
- ・ 取得金額  
1009万4700円
- ・ 取得先  
北海道市町村備荒資金組合

上川管内町村議会議員・  
北海道市議会議長会道北  
支部議員研修会参加報告

上川町村議会議長会並びに北海道市議会議長会道北支部議長の主催による議員研修会が10月26日に旭川市公会堂で開催され、7市17町2村から議員・事務局職員総勢329名(当議会からは議員5名職員2名)が参加して、株式会社日本総合研究所調査部主席研究員の藻谷浩介氏から「道北はコロナ禍をチャンスにできるか」と東北大学災害科学国際研究所助教の定池祐季氏から「北海道の防災教育、被災者支援の充実に向けて」と題した講演を拝聴し、知識を深めた。

平成合併前には3200市町村のすべて、海外109カ国を自費で訪問し、地域振興や人口成熟問題に精通している藻谷浩介氏は、「今後、食料・燃料・建材等は循環再生して自給できるほど国は安定する。とりわけ林業・農業・観光そして

地熱発電が有力な北海道は現状をチャンスと捉えて！」と地域の発展に向けた的確な現状把握と発想転換の必要性を指摘。

防災教育と被災者支援について講演した剣淵町出身の定池祐季氏は、自身の北海道南西沖地震の経験や胆振東部地震発生後の厚真町の災害対応を例に、防災教育の目標や重要性などを説き、「災害での被災者支援の充実に向けて、普段からの取り組みとして行政依存ではなく地域自治の推進や社協・NPOなどの横の連携が不可欠」と語った。

(遠藤 謙一)



## 議会の動き

令和4年8月～令和4年10月

- 8月 2日 ○富良野沿線市町村議会議長会総会
- 31日 ○総務常任委員会
- 9月 1日 ○南富良野町議会第4回臨時会
- 議会運営委員会
- 全員協議会
- 総務常任委員会
- 14日 ○議会運営委員会
- 20日 ○南富良野町議会第3回定例会
- ～22日 ○議会運営委員会
- 全員協議会
- 総務常任委員会
- 議会広報特別委員会

- 10月 1日 ○フォレストタウン記念植樹祭(金山)
- 18日 ○全員協議会
- 総務常任委員会
- 26日 ○上川管内町村議会議員・北海道市議会議長会道北支部議員研修会(旭川市)
- 31日 ○富良野広域連合議会第2回定例会(富良野市)

## 議会を傍聴してみませんか

町議会は、定例会が年4回(3月・6月・9月・12月)開かれ、そのほか臨時会が必要ある時に開かれます。

議会の傍聴は町政の運営状況や議員の活動状況を知るよい機会です。

定例会では議案審議のほかにも、議員が行政に質問をする「一般質問」も行われます。

お気軽にお越しください。皆様の傍聴をお待ちしております。

次の定例会の開催予定は 12月14日(水)～16日(金)です。